



天津の子

~Amatsu with your smile~

真庭市立天津小学校

*「天津の子」は本校HPでご覧いただけます。「天津の子」で検索してください。

修学旅行

11月4日（木）5日（金）、修学旅行に行ってきました。今年は、砂の美術館、鳥取砂丘、燕趙園、青山剛昌ふるさと館、円形劇場倉吉フィギュアミュージアム、湯原温泉街、はんざきセンター、蒜山郷土博物館、グリーンナブルヒルゼン、ヒルゼン高原センターと鳥取、真庭北部を巡りました。天候に恵まれ、また美しい紅葉の季節の修学旅行は子供たちにとって最高の思い出のひとつになったのではと思います。子供たちの見学の態度、集合時刻や公共のルールを守って行動する姿、友達と仲良く過ごす姿から、6年間の学びの成果を感じることができました。修学旅行を通して連帯感を高めた6年生、最高学年としてのさらなる活躍と成長を期待しています。



砂の美術館



鳥取砂丘



燕趙園



青山剛昌ふるさと館



円形劇場倉吉フィギュア
ミュージアム



湯原温泉 米屋

グリーンナブル
ヒルゼン



ヒルゼン
高原センター

イルミネーション事業

天津小の東側にそびえている、ヒマラヤスギにイルミネーションを設置する「イルミネーション事業」が、天津地域の方と保護者の方を中心とした実行委員により、つぎの目的を掲げ進められています。

- イルミネーション設置に、地域住民、子供たちに積極的に関わってもらい、よい思い出づくりとする。また、真庭市が進めている「ふるさとを大切にすする心」の醸成である「郷育」の一環として実施する。
- 地域住民にウォーキングなどで見学に来てもらうことで、運動不足の解消、認知症予防・生活習慣病予防および三世代交流等につなげる。
- 「地域と学校が共に育つ」「持続する地域、発展する学校」のために、学校と地域が連携して、児童の健全育成と地域の活性化を図る。

昨今、人と人とのつながりが希薄になり、ふるさとのために活動する若者や中堅層のいない地域が増えている中で、天津地区では、子供たちのために地域のためという気持ちをもって活動してくれる方が多くおられることに、天津小としては、心強く、そしてうれしく感じています。

本校では今回の取組を、子供たちと地域とのつながりを深めたり、地域を大切にすする心を養ったりすることにつなげたいと考え、どのような関わり方ができるかを、教職員で話し合い、進めています。

そのひとつが、「イルミネーションデザイン募集」と「イルミネーションワード募集」です。全校児童から「イルミネーションデザイン」と、イルミネーションで文字をつくって点灯する「イルミネーションワード」を募集しました。そして、6年生の実行委員が選んだ作品の中から、全校児童で投票し、デザインと言葉が選ばれました。

このほかにも、3年生から5年生は総合的な学習で取り組んでいる学習と関連づけた取組、1・2年生では図工や生活科と関連づけた取組を進めています。

初めての取組で、課題等も出てくると思いますが、子供たちのよりよい成長のためにご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

